

大規模試合時における感染防止対策報告

令和3年2月23日

イベント主催者：公益財団法人日本サッカー協会

公益社団法人日本プロサッカーリーグ

指定管理者：埼玉スタジアム2002公園マネジメントネットワーク

1. 試合概要

日 時：令和3年2月20日（土） 13：35 キックオフ

試 合 名：FUJI XEROX SUPER CUP 2021 川崎フロンターレ vs ガンバ大阪

来場者数：4,208人

2. 感染防止対策

「Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」（以下、「Jリーグガイドライン」）等に基づき、主に以下の対策を実施しました。

＜主な対策（ファン・サポーター向け）＞

- ✓ スタジアム内でのマスク着用の徹底（大会HP、試合時の大型映像装置等を通じて告知）
- ✓ スタジアム内外、入退場時、売店及びトイレ待機列等における社会的距離（できるだけ2m、最低1m）の確保
- ✓ スタジアム内での声を出す応援、ハイタッチや肩組みなど「密」を作る応援の禁止
- ✓ 密集・密接を避け感染リスクのある行動の回避のお願い
- ✓ 試合後の分散退場促進イベント（プレゼント抽選会）の実施
- ✓ 入場時検温の実施（体温37.5度以上の場合は入場不可）
- ✓ 観戦時の座席移動の禁止
- ✓ トイレ、売店の待機列における社会的距離確保のための目印（シール等）の設置
- ✓ スタジアム周辺の混雑状況お知らせ（モバイル空間統計）
- ✓ 試合終了後立ち寄りを少なくし速やかな帰宅の呼びかけ
- ✓ 各ゲートの混雑状況をリアルタイム配信
（連携：NTT コミュニケーションズ株式会社[coomonita]を導入）
- ✓ アルコールの販売を実施。飲酒による感染リスクにつながる行動を回避するため、時間制限（11時00分～ハーフタイム）を設けて販売
- ✓ 公園内およびスタジアム内における全面禁煙の実施（関係者エリア及びVIPエリアを除く）
- ✓ 公共交通機関以外での来場を促進（東駐車場の販売）
- ✓ オーロラビジョン・場内アナウンスでの国の接触確認アプリおよび県のLINE コロナお知らせシステムの活用をお願い

※その他の対策についてはJリーグ大会HPをご確認ください。

Jリーグ大会HP：<https://www.jleague.jp/fxsc/2021/ticket/>

3. 開催結果

- ✓ この試合は、新型インフルエンザ等緊急事態宣言による緊急事態措置期間中において、収容人数5,000人規模を想定して対応しました。入場時・退場時において、各ゲート付近では、大きな混雑等感染リスクが高まる状況は見受けられませんでした。
- ✓ 試合前後やハーフタイム時の売店やトイレ付近において、混雑は見受けられず、待機列に並ぶ際には社会的距離が確保できていました。
また、試合が行われている間の売店やトイレの混雑はありませんでした。
- ✓ 最寄り駅である浦和美園駅や浦和美園駅に至るまでの歩行者専用道路においても、試合前、試合終了後ともにファン・サポーターの方の滞留等は見られませんでした。
- ✓ 声を出す応援、ハイタッチや肩組みなど「密」を作る応援の禁止などの応援ルールが遵守され、感染リスクにつながるような応援になることはありませんでした。

- ✓ 試合後に表彰セレモニーがおこなわれたが、自席での観戦を呼びかけ、感染リスクが高まる状況は見受けられませんでした。

✓

4. 改善・見直しの内容

- ✓ J リーグガイドラインに基づいた感染防止対策を施し、感染リスクが高まる状況は見受けられなかった。
- ✓ 感染リスクを回避するための応援ルールに関しては、大会 HP や当日のアナウンス等での周知を徹底したことで、観戦者の応援ルール遵守に繋がり感染リスクを抑えることができたものと考えられる。

以上